

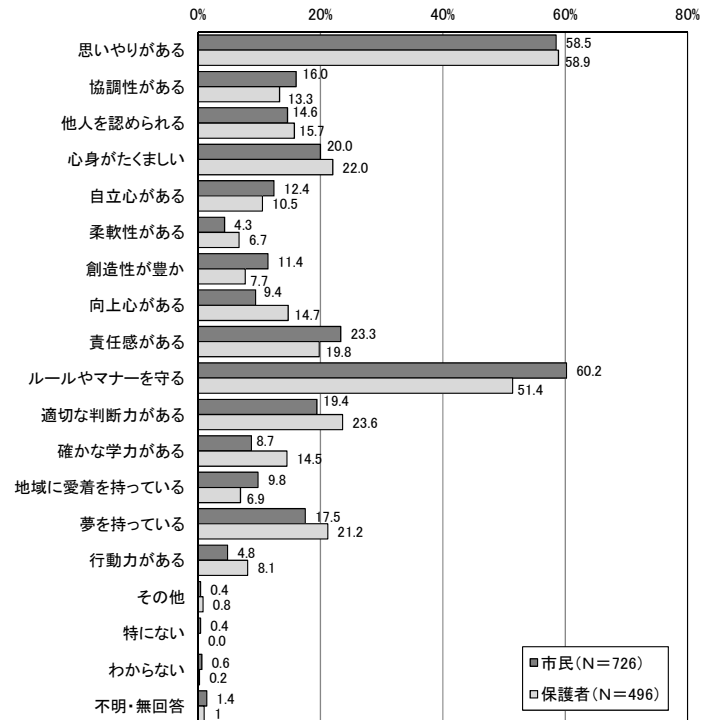
(1)小牧市の子どもたちの将来像について

市民、保護者は、子どもに「思いやりがある」「ルールやマナーを守る」ことを身に付けてほしいと感じている。(→他者を尊重する心・社会人としての規範意識の育成)

- 市民と保護者に「小牧市の子どもたちにどのようなようになってほしいと思うか」を尋ねたところ、共に「思いやりがある」「ルールやマナーを守る」が5～6割を占め、高くなっています。
- 次に、両アンケートともに「心身がたくましい」「責任感がある」「適切な判断力がある」「夢を持っている」がそれぞれ2割前後みられており、ほぼ同じ傾向となっています。市民アンケートに比べて保護者アンケートで高い項目は「向上心がある」「確かな学力がある」であり、それぞれ5～6ポイント程度上回っています。

市民アンケート／保護者アンケート

■小牧市の子どもたちにどのようなようになってほしいと思うか(複数回答)



(2)市民・保護者が感じる教育の重要度と満足度について

○市民と保護者に、小牧市の教育や生涯学習に関する18項目の施策について、満足度と重要度を5段階で評価してもらいました。

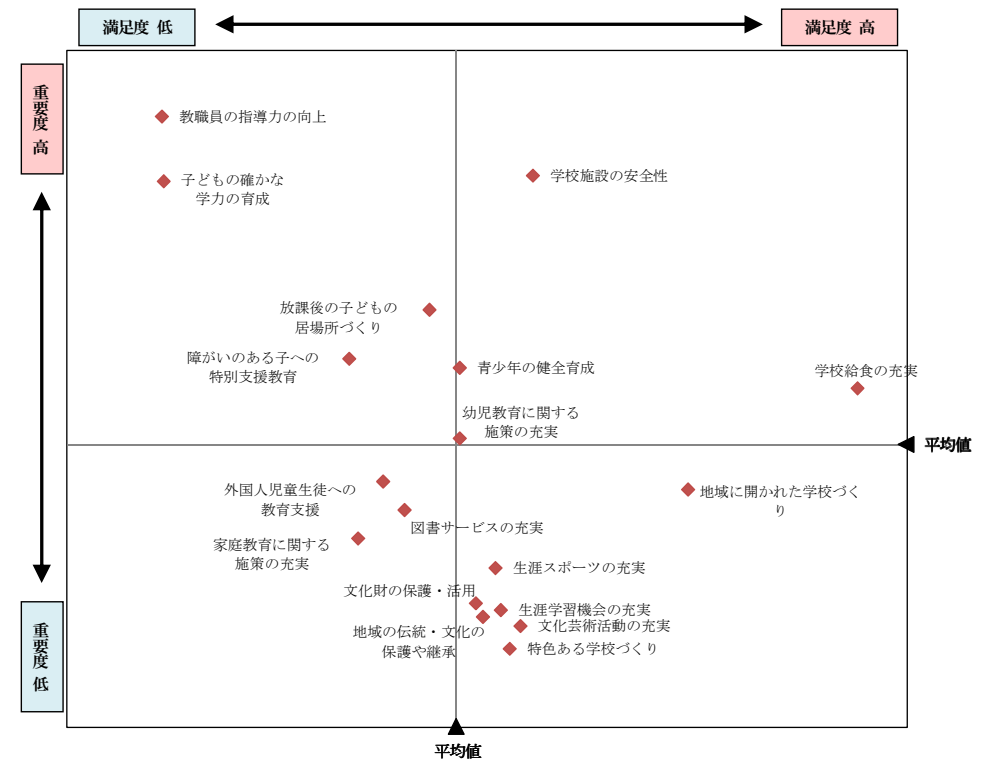
■選択肢の項目(18 施策)

【教育、生涯学習に関する施策】

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 1 幼児教育に関する施策の充実 | 7 教職員の指導力の向上 | 13 家庭教育に関する施策の充実 |
| 2 学校施設の安全性 | 8 外国人児童生徒への教育支援 | 14 文化・芸術活動の充実 |
| 3 放課後の子どもの居場所づくり | 9 障がいのある子への特別支援教育 | 15 地域の伝統・文化の保護や継承 |
| 4 地域に開かれた学校づくり | 10 学校給食の充実 | 16 文化財等の保護・保存 |
| 5 特色ある学校づくり | 11 青少年の健全育成 | 17 生涯スポーツの充実 |
| 6 子どもの確かな学力の育成 | 12 生涯学習機会の充実 | 18 図書館サービスの充実 |

市民・保護者ともに評価が高いものは「学校施設の安全性」と「幼児教育に関する施策の充実」。

一方、重要であるのに満足度が低いとされるものは「教職員の指導力の向上」「子どもの確かな学力の育成」「障がいのある子への特別支援教育」「放課後の子どもの居場所づくり」であり、「青少年の健全育成」については、保護者での満足度は比較的高いものの、市民の満足度は平均を下回っている。



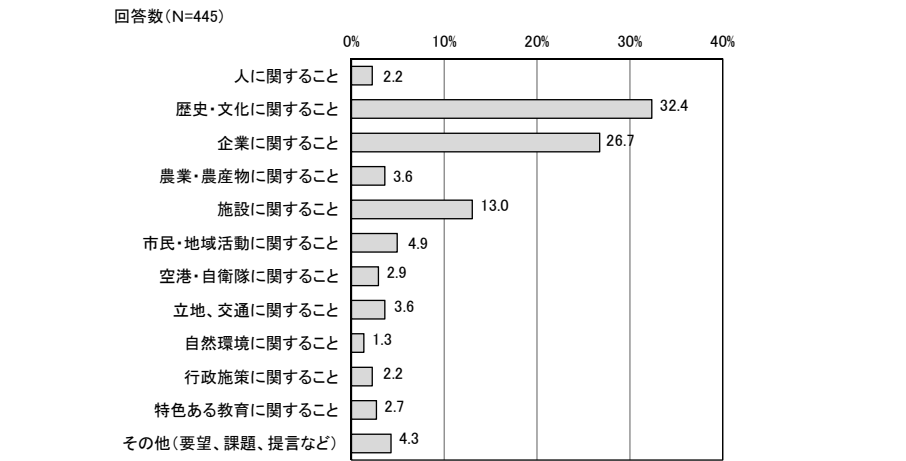
(3)小牧市の特色(打ち出すべき特長・アイデンティティ)について

小牧山や小牧城をはじめとするまちの歴史・文化や、高い技術力を持った地域の企業を、小牧市の教育に生かすべき特色として感じている人が多い。

○市民と保護者に「小牧市の教育に生かした方がいいと思う地域性・特色」を、自由記述形式で尋ねたところ、最も回答件数が多かった内容は「歴史・文化に関すること」であり、次いで「企業に関すること」となっています。「歴史・文化に関すること」の内訳では「小牧山・小牧城」が突出して多くなりました。また、「企業に関すること」では「企業の特徴や技術力」「製造業の多さやものづくりの文化」をあげる人が多くなっています。

市民アンケート・保護者アンケート

■小牧市の教育に生かした方がいいと思う地域性・特色は何だと思うか(自由記述形式)



■回答が多かったものの具体的な回答内容

歴史・文化に関すること	
回答内容	件数
小牧山・小牧城	118
小牧市の歴史全般	15
寺社・仏閣(間々観音、田縣神社)	4
小牧市の文化財全般	4
小牧市の古くからある地名	3

企業に関すること	
回答内容	件数
企業の特徴や技術力	83
製造業の多さやものづくりの文化	14
航空機産業(MRJ、三菱重工業)	12
産業全般	7
自動車産業	2
運送業	1

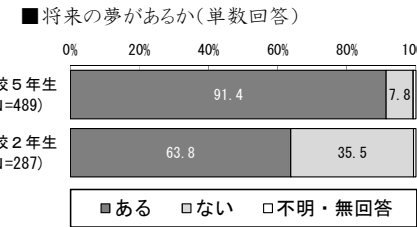
(4)こどもたちの将来の夢について

小学校5年生は9割が夢を持っているが、中学2年生でその割合は6割強にこどまる。人気の職業は、スポーツ関係、医療関係、美容・服飾関係となっている。

○児童生徒に「将来の夢があるか」を尋ねたところ、小学校5年生では 91.4%と、ほとんどの児童が夢を持っていますが、中学校2年生になると、その割合は低下し、夢を持っている割合が 63.8%となっています。これに対し、保護者が子どもの夢を知っている割合は児童保護者で75.7%、生徒保護者で55.3%となっています。

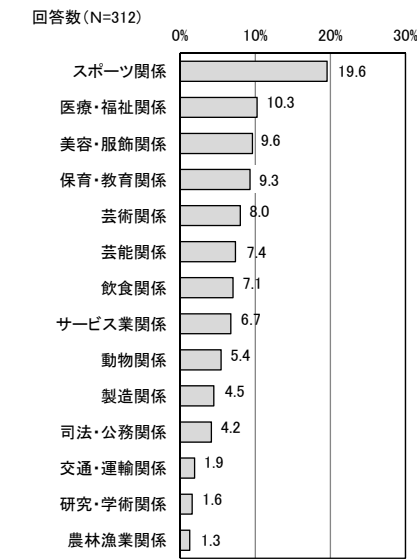
○児童生徒に「今後チャレンジしたいと思っているもの、こと」について自由記述形式で尋ねたところ、最も回答が多かった職業分野は「スポーツ関係」、次いで「医療・福祉関係」「美容・服飾関係」となっています。中でも回答が多かった具体的な職業はサッカー選手、保育士、看護師、美容師・理容師などとなっています。

児童生徒アンケート

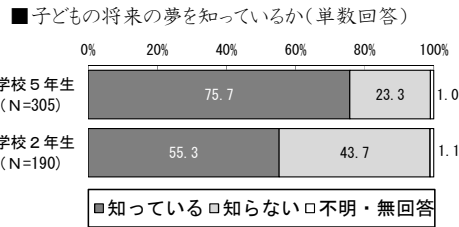


児童生徒アンケート

■将来したい仕事・夢(自由記述形式)



保護者アンケート



■回答が多かったものの具体的な回答内容

※上位3位の分野のうち、複数の回答があったもののみ抜粋	
回答内容	件数
スポーツ関係	
サッカー選手	26
野球選手	10
バスケットボール選手	9
テニスプレイヤー	5
バレーボール選手	3
医療・福祉関係	
看護師	14
医師	8
薬剤師	4
美容・服飾関係	
美容師・理容師	10
ファッションデザイナー	8
ネイリスト	5
ヘアメイクアーティスト	2

(5)子どもたちが希望する学校での学び方、過ごし方について

児童生徒は、さまざまな道具・機材を使った学習や体験学習をしたいと感じている。

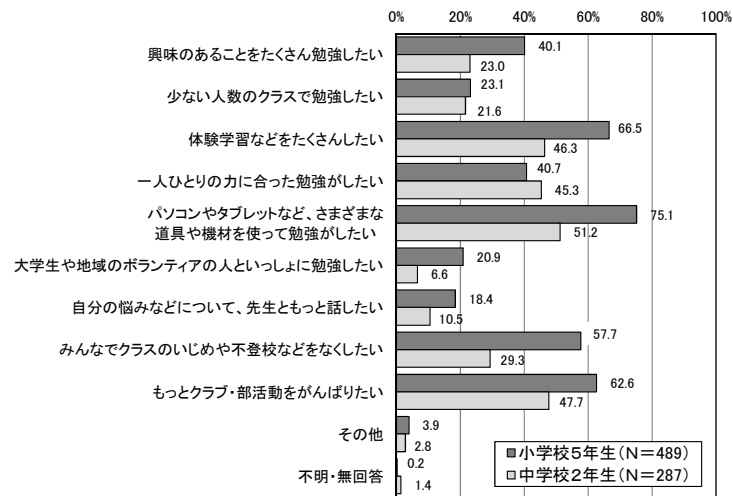
また、必要だと思う学習は「夢や将来について考える機会」「グループ学習」がほぼ同じ割合で高くなっている。(→夢を大事にする教育・学び合う学び)

○児童生徒に「学校でどのように学んだり、過ごしたりしたいか」を尋ねたところ、児童・生徒ともに「パソコンやタブレットなど、さまざまな道具や機材を使って勉強がしたい」の割合が最も高くなりました。中学校2年生では、次いで「もっと部活動をがんばりたい」が、小学校5年生では「体験学習などをたくさんしたい」が続いています。

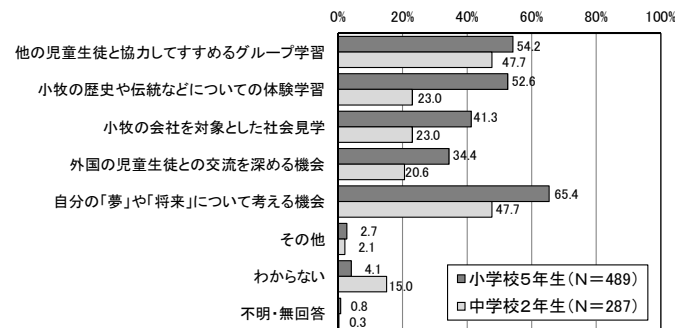
○また、「自分にとって大切だと思う勉強・学習」について尋ねたところ、「自分の「夢」や「将来」について考える機会」「他の児童生徒と協力してすすめるグループ学習」が高くなりました。

児童生徒アンケート

■あなたは、学校でどのように学んだり過ごしたりしたいか(複数回答)



■次のうち、どんな授業や勉強が自分にとって大切だと思うか(複数回答)



(6)子どもたちへのグローバル教育について

外国語教育は、市民・保護者・児童生徒いずれもニーズが高いが、特に小学校5年生で興味・関心が高いことがうかがえる。

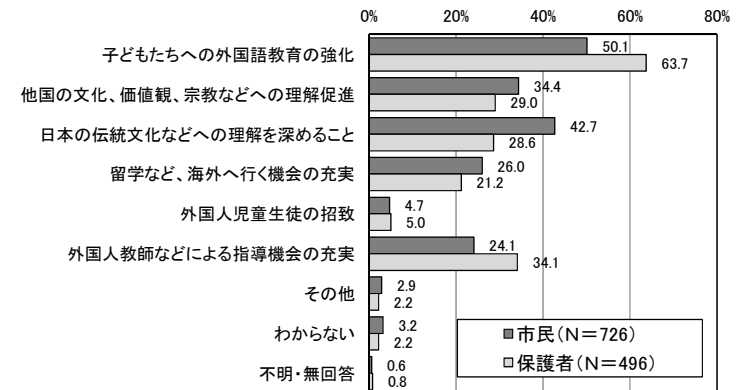
○市民と保護者に「子どもたちが世界で活躍できるようにするために必要だと思う取り組み」を尋ねたところ、市民、保護者ともに「子どもたちへの外国語教育の強化」が最も高い割合を占めています。

○2番目に高い項目が、市民は「日本の伝統文化などへの理解を深めること」という自国の文化を知る活動となっているのに対し、保護者では「外国人教師などによる指導機会の充実」という、より実践的な外国語指導があがっています。

○児童生徒に「外国のことに興味があるか」を尋ねたところ、7割以上の小学校5年生が興味を持っているのに対し、中学2年生ではその割合は低くなり、5割程度の生徒にとどまっています。

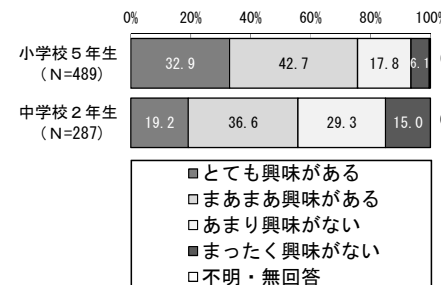
市民アンケート／保護者アンケート

■子どもたちが世界で活躍できるようにするために必要だと思う取り組みは何だと思うか(複数回答)



児童生徒アンケート

■外国のことに興味があるか(単数回答)



児童生徒アンケート

■どのように外国のことを学びたいか(複数回答)

小学校5年生(上位4位)	
回答内容	割合(%)
外国語をもっと勉強したい	64.6
他の国の文化などをもっと知りたい	62.2
様々な国の子どもと交流を持ちたい	41.9
外国の人に日本のことを教えられるよう、日本の伝統などをもっと知りたい	41.9

中学校2年生(上位4位)	
回答内容	割合(%)
他の国の文化などをもっと知りたい	43.8
外国語をもっと勉強したい	42.5
様々な国の子どもと交流を持ちたい	35.0
海外留学などをしてみたい	35.0

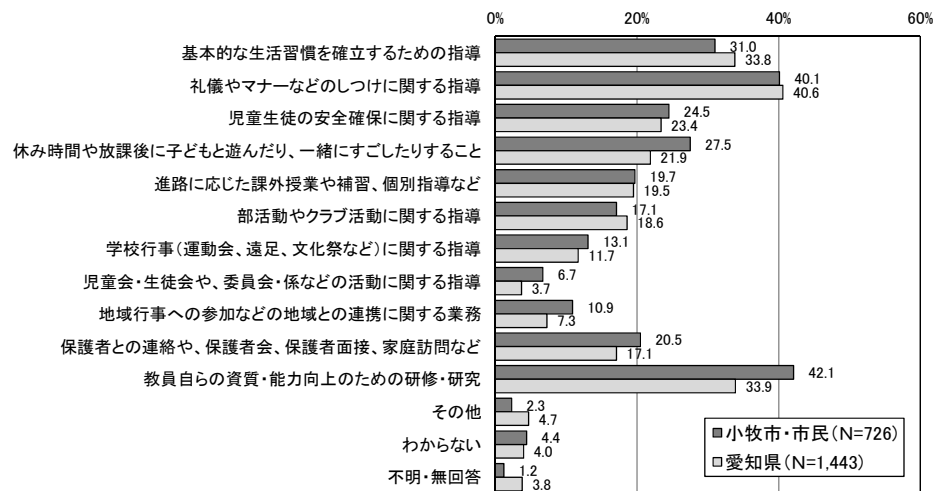
(7)授業以外で、教員が優先すべきだと思う業務について

小牧市では、「教員自らの資質・能力向上のための研修・研究」を優先すべきだと思う割合が高い。

- 市民に「授業以外で教員が行っている業務のうち優先すべきだと思う業務」について尋ねたところ、「教員自らの資質・能力向上のための研修・研究」と「礼儀やマナーなどのしつけに関する指導」がともに4割を超える結果となっています。
- 平成 26 年度に愛知県が行った県政世論調査の結果と比較したところ、「教員自らの資質・能力向上のための研修・研究」において、県の値を上回っており、小牧市民のニーズが高いことがうかがえます。

市民アンケート(愛知県調査との比較)

■授業以外で教員が行っている次の業務のうち優先すべきだと思う業務(複数回答)



比較に使用した調査

平成 26 年度第 3 回県政世論調査

(愛知県内居住の 20 歳以上の男女 3,000 人を対象に、郵送により実施。調査期間:平成 26 年 11 月 1 日～11 月 20 日。回収数 1,443 人(回収率 48.1%))

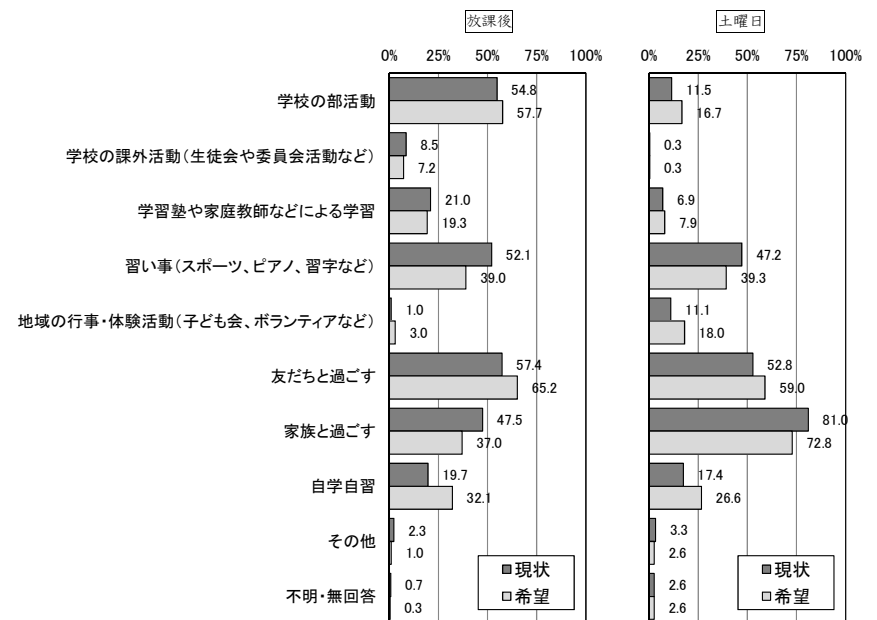
(8)放課後・土曜日の過ごし方について

放課後、土曜日の子どもの過ごし方の現状と希望に大きな差はないが、実際に行っている「習い事」は希望では少なく、「友だちと過ごす」「自学自習」などで希望がやや上回っている。

- 小学生の児童を持つ保護者に「子どもの放課後や土曜日の過ごし方の現状と希望」について尋ねたところ、放課後の現状では「友だちと過ごす」「学校の部活動」「習い事」が5割を超えて高くなっており、土曜日の現状では、「家族と過ごす」「友だちと過ごす」「習い事」の順に高くなっており、希望についても同じ順となっています。
- 現状よりも希望が上回っているものは、放課後の「友だちと過ごす」と「自学自習」、土曜日の「友だちと過ごす」と「学校の部活動」「自学自習」「地域の行事・体験活動」となっています。

保護者アンケート

■放課後や土曜日の子どもの過ごし方の現状と希望(それぞれ複数回答)

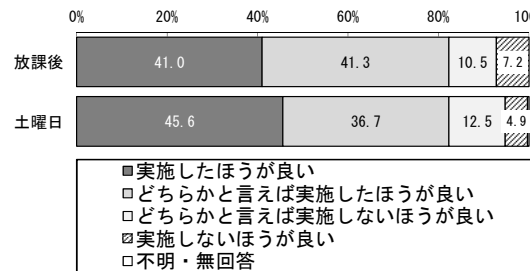


放課後、土曜日の学習指導・体験学習は、実施を希望する保護者が8割を超える。その内容は補習や理数系講座が求められている。

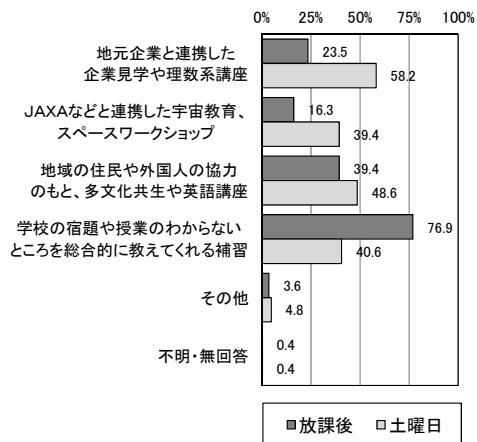
- 放課後、土曜日などの学習指導・体験学習については、実施を希望する割合が約8割と、高くなっています。
- 実施する場合に希望する内容は、放課後では「学校の宿題や授業のわからないところを総合的に教えてくれる補習」、土曜日では「地元企業と連携した企業見学や理数系講座」がそれぞれ最も高い割合を占めています。
- 実施しない方がいいとする人に、その理由を尋ねたところ、放課後、土曜日ともに「家族や友だちと過ごす時間が減る」が最も高くなっており、放課後は部活動や塾・習い事などを行っていることも大きな理由となっています。

保護者アンケート

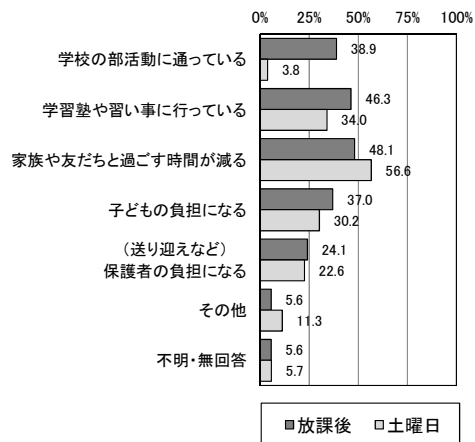
■放課後や土曜日に公共施設を利用して、学習指導などを行うことについてどう思うか(それぞれ単数回答)



■どのような内容を希望するか(それぞれ複数回答)



■実施しないほうがいい理由(それぞれ複数回答)



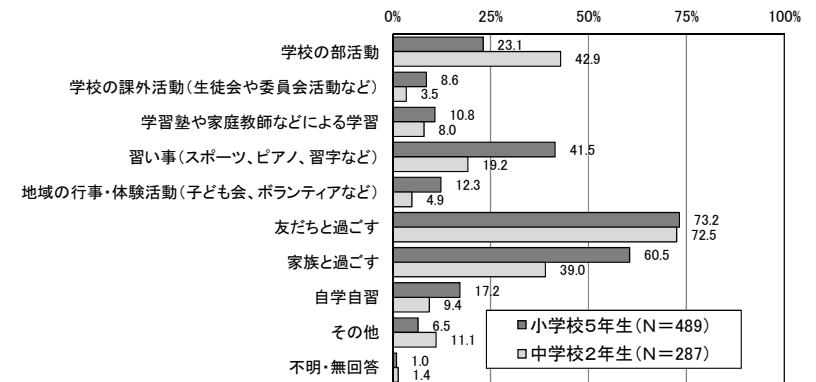
児童生徒が希望する放課後・土曜日の過ごし方は、「友だちと過ごす」こと。小学校5年生では「習い事」、「家族と過ごす」が、中学校2年生は「学校の部活動」がそれぞれ高くなっている。

- 児童生徒が希望する放課後、土曜日の過ごし方は、「友だちと過ごす」がともに約7割と高くなっています。

- 放課後、土曜日などの学習指導・体験学習への参加希望については、児童生徒ともに「学校の宿題や授業のわからないところを教えてくれる場」の割合が高くなっています。

児童生徒アンケート

■放課後や土曜日にどのように過ごしたいか(複数回答)



■放課後や土曜日に、次のような場に参加したいか(複数回答)

